参考資料

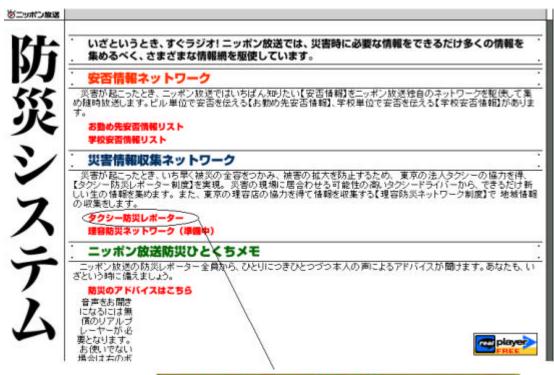
ニッポン放送の災害情報収集ネットワーク

FEMA のプロジェクト・インパクト

環境マネジメント 環境会計

業務継続計画目次例

ニッポン放送の災害情報収集ネットワーク (タクシー防災レポーター)



タクシー防災レポーター 協力社一覧

イースタンモータース	盈進自動車	荏原興業
共栄交通	久留米交通	京王交通
京西交通	ケイエム国際	三陽自動車
親和交通	スガイ交通	第一交通
第三コンドルタクシー	大日本交通	大日本自動車交通
大和自動車	大和自動車交通	宝自動車交通
帝都自動車交通	東京協同タクシー	東京コンドルタクシー
同進交通	東都交通	都民交通
日本交通	宝自動車交通	コンドルキャブ
東日本交通	日の丸交通	毎日タクシー
マコト交通	丸井自動車	美鈴タクシー
三ツ矢観光自動車	南観光交通	宮園自動車
和親交通	大栄交通	大同交通

出典:ニッポン放送ホームページ http://www.1242.com/bousai/



各地域、コミュニティーにおいて、行政、住民、企業・財界等で防災・減災に向けたパートナーシップを組んでもらい、防災・減災プロジェクトを彼らが計画し実行するというもの。FEMAはそれに対して初期に数十万ドル~数百万ドルの助成を行う。州政府が併せて助成するところもある。FEMA及び州政府は、技術的なアドバイスも行う。実際に、全米で250のコミュニティーとビジネス・パートナーといわれる財界・民間企業との提携は4千にも及んでいる。(VISA、3M社、シーメンス等大手企業も含む)などがあり、非常に大きな成功を収めている。

内容的には、自治体の主な部署がこぞって災害に強い建物に移るといった大掛かりな ものから、商店主が店先に防災PRのコーナーを設けたといった草の根の活動まで含まれ ている。

【オークランド市】

市、企業、住民の連携から始まった同市のSAFE (SAFE: Safety and Future Empower ment)プロジェクトは、公共の安全を最優先させることを約束している。SAFEプロジェクトにはシェブロンオイル、EQE インターナショナル (Engineering Firm)、ワシントン相互銀行、アメリカ赤十字社、オークランド商業会議所、CARD (CARD: Collaborating Agencies Responding to Disasters)オークランドの18のグループを代表する非政府組織で災害対策協力機間)等が参加している。FEMAが100万ドルの初期支援をしたのに対し、これらの機間やグループは全体で、直接の資金提供ないしサービス提供という形で600万ドルの投資をした。連携グループはオークランド市の危険分析、リスクアセス

メントを実施し、家庭および企業の強化プログラムを作成した。厳しい気象条件下でのシステム上の弱点は何かを知るため、公共施設とインフラを点検。さらにSAFEプロジェクトの参加団体は自分たちの施設をもっと危険に耐え得るものにし、非常訓練や特別サービスを提供して社員を援助することを約束した。

【サンレアンドロ市】

サンレアンドロ市は、住宅の耐震補強に重点的に取り組んだ。「個人でできる耐震補強マニュアル」を作成、全戸に配布した上で、市内の事業者等の協力を得て、必要な機材を安価で市民に提供するとともに、工具等の無償貸与を実施している。

また、数多くの企業(コカコーラ社等)が立地していることから、市がそれら企業と協定(Memorandum of Understanding)を結び、災害時及び災害予防に際しての企業の協力(物資提供等)を要請するとともに、市においては、企業施設の脆弱性評価や耐震化等に関し、州政府や連邦政府の技術的支援をあっせんすることとしている。

市とこれら協力企業等は、年に4回、意見交換会を開催している。